

## 研究講習事業報告

学発番号: 学21-038  
事業名: 令和3年度精度管理報告会・病理細胞検査研修会(Web研修会)  
日時: 令和4年2月6日(日) 13:00~16:00  
場所: Web開催  
主題1: 病理検査精度管理報告と解説  
講師1: 森藤 哲史 技師(洛和会音羽病院)  
主題2: 細胞検査精度管理報告と解説  
講師2: 山口 直則 技師(綾部市立病院)  
主題3: 一般検査と病理・細胞診検査の連携  
講師3: 佐伯 仁志 技師(国立病院機構 敦賀医療センター)  
参加数: 総数:29名(京臨技会員:28名)  
報告者: 久保 喜則(京都第一赤十字病院)

以下、講演内容など

前半は、精度管理結果報告と解説を行いました。病理検査は、免疫組織化学染色(CD20)をした。未染色スライドを配布し各施設で染色された標本を回収しました。判定は班員及び判定参加希望のあった施設代表者で行い、Whole slide imagingスキャナーを用いリモートで施設を化し供覧しました。22施設より標本を回収し評価を行いました。18施設がA評価、3施設がB評価が1施設でした。多くの施設では良好な染色が実施されていましたが、1施設では染色の目できておらず、改善が必要と考えられました。細胞検査では、日常業務にて遭遇する可能性の例や特徴的な細胞所見を有する症例15例と、知識の確認・向上が目的の教育的症例(評価を2問の計17例を出題し、提示写真から回答するフォトサーベイを実施しました。正答率の評価は70%とし、良悪の判定と組織型の推定が出来る事を目的としました。参加施設は24施設で、11率の評価基準を下回ったため評価対象外とし、14問の全体正解率が97.3%、施設別正答率以上で良好な結果と考えます。京都府における状況を把握することができました。

後半は、国立病院機構敦賀医療センター佐伯仁志先生により「一般検査と病理・細胞診検査」と題し、診断・教育・運営等に係わる一般検査との連携内容について、ご経験をもとに分かりやすく講演いただきました。

今後も京都府下の施設における染色技術の習熟と向上に努めていきたいと思っております。大変多識を得ることができた有意義な報告会ならびに講演会でした。

実施しま  
会議に  
を匿名  
価、C評  
的を達成  
り高い症  
対象外)  
面基準を  
問が正答  
は92.9%

の連携」  
やすくご

くの知